

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

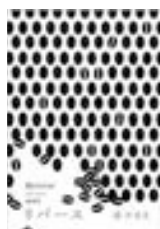
図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
E-mail klg110@town.kosa.lg.jp

閉ざされた過去の真相を追い掛ける 奏 かなえ著 / 『リバース』



講談社

小説

深瀬和久は平凡なサラリーマンで、趣味といえばコーヒーを飲むことぐらい。その縁で彼女もできたのだが、ある日彼女のもとに「深瀬和久は人殺しだ」と書かれた告発文が届いた。深瀬は動揺し深く悩んだ。ついに“あのこと”を話す時が来てしまったのかと…。最後の最後でガツンとやられる、著者ならではの結末がたまらない1冊です。

夢の料理を自分の手で作ってみよう 星谷 菜々著 / 『夢の名作レシピ①』



日本図書センター

児童書

「はらぺこあおむし」のカップケーキ、「ONE PIECE」のサンジの焼き飯など、マンガや絵本、アニメの名作42作品に出てくる「お菓子」と「ごはん」を再現。写真で丁寧に手順を紹介し、料理の基本である道具や、調味料の計り方、野菜の切り方の説明もあり、初めてのお料理でも安心です。一度は食べてみたかったあこがれの料理が作れます。

人生を素直に明朗に描いた感動作 黒柳徹子著 / 『トットひとり』



新潮社

一般書

女が1人で生きていくのは大変だった分かったのは、38歳のときだった…。私が好きだった人たち、私を理解してくれた人たち、そして私と同じ匂いを持った人たちへ…。「ザ・ベストテン」の日々、森繁久彌・向田邦子・渥美清・沢村貞子たちとの友情、結婚未遂事件や現在の心境までを熱く率直につづった、宝石箱のような回想録です。

読書は子どもの将来の学力を育てる 松永 暢史著 / 『将来の学力は10歳までの「読書量」で決まる!』



すばる舎

教育・娯楽

東大生の多くが幼少期に、絵本の読み聞かせをたくさんしてもらっていた。読解力は、学力の基盤でありそれを培うのが読書。10歳くらいまでに、どれだけの本を読み、読んでもらったか。幼少期の読書体験が、その後の学力に大きく影響を及ぼすという。効果的な読み聞かせの方法、本の選び方など具体的に解説されている分かりやすい1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

- 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

日 ごろあまり本を読まない私ですが、町の図書室にはよく出掛けて、背表紙を眺めてブラブラしながら時間をつぶすという感じです。

ところが、先日いつものように図書室の中を歩き回っていると、この本のタイトルが目に残りました。

私も60歳を過ぎて、今後の人生を最近少々考えるようになったためでしょうか。さっそく手に取り目次に目をやると、タイトルどおり9つの章からなっています。

今月の案内人



村上 浩二さん
〔上豊内区〕

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『これから、どう生きるのか』(本田 健著)

生き方に迷う人が増えているいま、自分にとって何が大切なかをあらゆる角度から見て、明るく幸せな人生を歩むためのきっかけを9つ示す1冊。

した。

その中で『「時間」一貯められない資産をどう使うかー』という章があり、その場でその章を一気に読み切ってしまいました。そこには、時間の使い方について「時間は人それぞれに毎日24時間与えられ、使い方は個々人の自由裁量に任されている」と、作者の考え方が述べられていました。

確かにそうだと共感し、後日

残りの8章も一読してしまいました。

この本を読み終えて、人生について少し立ち止まって考えることで人としての人生の喜びを見出す時間が必要ではと感じました。

ちなみに歩むという字は「少」し「止」と書きますものね。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

◀町民大学

開講式および講演会

5月26日(火)町生涯学習センターで、平成27年度町民大学開講式を開催し、受講生50人が参加しました。同大学では、健康、文化、歴史、福祉や経済生活の諸問題などをテーマに、年6回の講座を開催しています。



▲人生における人間関係の大切さを伝える長嶺さん

開講式後の講演会では、長嶺興也さん(美里町・善林寺住職)が「共に生き

る」と題して講演。長嶺さんは、「人間社会は、共に生きるために共存してこそ素晴らしい人間関係を保つことができます。持ちつ持たれることで良好な社会を形成できます」と、これまでの豊かな人生経験を基にしたユーモアを交えた巧みな話術で説明しました。受講生は、「時間のたつのも忘れて聞き入っていました。次回もぜひ参加します」と話しました。

◀公民館出前講座

お手玉・ちよんかけごま

5月17日(日)下横田公民館で、出前講座「お手玉・ちよんかけごま」を開催しました。

講師は、お手玉は美里町の福永カツミさんほか2人

ちよんかけごまは、西寒野区の田浦末廣さんと杉本茂さん。参加者たちは、お手玉とちよんかけごまの班に



▲ちよんかけごまの練習の成果を披露する子どもたち

分かれて挑戦しました。初めのうちはうまくできず悪戦苦闘する子どもたちでしたが、しばらく練習するうちに少しずつ上達し練習の成果に喜びました。子どもよりうまくできなくてちよつぱり悔しそうな保護者もいて、日本の昔ながらの遊びを満喫しました。

▶公民館主催講座

「ワーキング世代の講座」

町公民館では、公民館主催講座「ワーキング世代の講座」を次のとおり開催します。

- 日時 7月20日(月・祝)午前10時～午後0時30分
- 場所 町総合保健福祉センター
- 内容 シュークリーム、トマトと夏野菜パスタ作り
- 受講料 300円
- 定員 10人(定員になり次第申し込みを締め切ります)

- お申し込み・お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局 ☎096-234-2447(内線321)

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局 ☎096-234-2447(内線321) ✉klg110@town.kosa.lg.jp

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●人権に関するDVDのご紹介

町人権教育推進協議会では、人権啓発に関するDVDを収集・保管しています。人権について理解をさらに深めるために、ぜひご覧ください。

『「めぐみ」“拉致という、自由を奪う行為を忘れないで”』(25分)

昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。

『「水俣病のあらまし」水俣病と生きる』(子ども向け・15分)

水俣資料館が小学生を対象に作成した作品で、水俣病に関する正しい知識を身に付け、水俣病の教訓を継続し、環境の大切さを学べるように構成されています。

各地区や企業などで人権について学ぶことができるように貸し出しも行っていきますので、ぜひご利用ください。

貸し出しについての詳しいことは、町人権教育推進協議会(町社会教育課内)にお問い合わせください。



▲地区や企業などの人権教育勉強会にぜひご活用ください

- 人権に関するお問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447(内線324) ✉klg110@town.kosa.lg.jp